

死の商人国家になるな

宗教者と市民が街頭宣伝

国会前

岸田文雄政権が次期 出ず宗教者ネット」は 戦闘機の第三国への輸 出を閣議決定するなど 憲法に背く動きをみせ 館前で「死の商人国家 に出す宗教者ネット」は 戦闘機の第三国への輸 出を閣議決定するなど 憲法に背く動きをみせ 館前で「死の商人国家



「死の商人国家に墮落するな」などと訴える 宗教者と市民ら18日、衆院第2議員会館前

など声を上げまし た。50人が参加。 東京都北区を中心に 活動する「STOP改 憲北区の会」の大束愛

子さんは「次期戦闘機 は殺傷武器の王様。今 の戦闘機の予算は6・ 1兆円とされている が、次期戦闘機になる といくらになるのか。 そういうお金は私たち の暮らしに」と語りま した。

X(旧ツイッター) で、改憲発議を止めよ うと発信している60代 の女性は、戦争以外に も国民の命や健康が脅 かされる事態が相次い ていると述べ、「憲法 のレベルを落とされる と、表現の自由も行使 できなくなる。改憲に は絶対反対だ」と強調

しました。

参加者は、国会議事 堂に向かってコール。

「軍拡のために税金使 うな」「軍事費を被災 地支援に回せ」「戦争 したがる総理はいらな い」などと訴えまし た。

閉会あいさつで、日 韓和解と平和のプラッ トフォーム書記の金性 済(キム・ソンジェ) さんは「以前、自衛隊 と靖国神社が結びつく ことを憂うとする講演 をした。今になり、国 家神道体制の再構築の ような図式が見えてく る。戦争準備体制の最 後の仕上げが宗教だとい う自覚が宗教者には 必要だ」と力をこめま した。

「陸自幹部の靖国・ 宮古神社の集団参拝に 抗議する宗教者・市民 共同声明」の第3次賛 同者数が、78の団体と 440の個人に達した と発表されました。